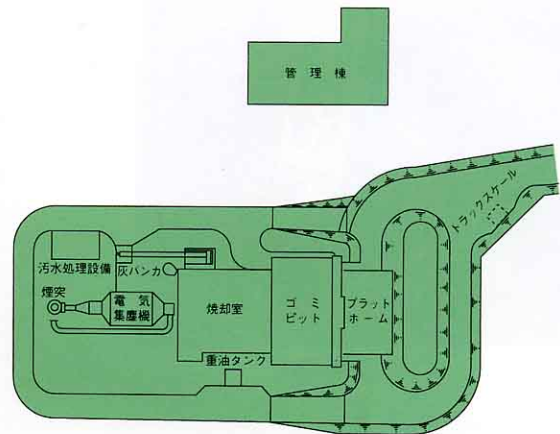


④伊達地方清掃センター

＜伊達地方衛生処理組合清掃センターと町の協力＞



伊達地方衛生処理組合清掃センター



清掃センターの施設の様子

- ◎集めたごみは、伊達地方衛生処理組合清掃センターに運ばれます。清掃センターは、伊達9町がそれぞれ「ふたん金」をおさめてうんえいしています。

＜清掃センターの様子＞

- ◎清掃センターには、家庭のほか、学校、役所、会社、工場などで出すごみも集まってきます。清掃センターでは、1日にたくさんのごみを、みんな機械でしよります。
- ◎うめたて地は、ごみからしみだす液が土中にしみないように、ゴム化アスファルト吹き付け工法で層をつくっています。
- ◎1年間のうめたて量
 - もやして出る灰
443トン（ダンプ147台分）
 - 粗大ごみともえないごみ
239トン（ダンプ79台分）
- ◎昭和62年新しいうめたて地がつくられ（10,980㎡）、現在までで約80%が使われました。このままでごみが出されると、あと、2年間くらいでいっぱいになってしまいます。

- ◎清掃センターは、町の中心、住宅地からはなれた、阿武隈川ぞいの広い土地に建てられています。



- ◎家庭から出されたもえないごみとして集められたごみを、金物、アルミ、ガラス等に分けて、資源を回収して、再利用するようにしています。また、うめたて地を少しでも長く利用できるようにしています。